

「レーダの基礎」正誤表

頁	行・図・式	誤	正
6	上から 16 行目	分解能時間	分解能時間
	図 1.5	$\Delta\tau$	$\tau_0$
9	上から 3 行目	programming	programmable
39	上から 10 行目	式 (2.16)	式 (2.15)
40	上から 6 行目	図 2.6	図 2.7
45	下から 2 行目	repetion	repetition
47	上から 6 行目	ジェッター (jettered)	ジッタ ( jittered)
55	図 2.18 (b)	「スケーリング」の位置	「振幅」の下に配置
56	上から 3~4 行目	水平偏波成	水平偏波
75	下から 8 行目	Kullback-Leiber	Kullback-Leibler
78	下から 10 行目	式 (3.32)	式 (3.34)
80	下から 6 行目, 1 行目	式 (3.32)	式 (3.34)
84	下から 7 行目	$\exp(\gamma_E/2)$	$\gamma_E/2$
	式 (3.51)	$+ e^{\frac{\gamma_E}{2}}$	$+ \frac{\gamma_E}{2}$
89	上から 4 行目	SCR1 無限大	SCR1 と無限大
90	上から 10 行目	Excisin-CFAR	Excision-CFAR
98	式 (4.11)	$s(t)e^{-i2\pi f_1\tau}$	$s(t)e^{-i2\pi f't}$
105	式 (4.44)	式中, すべての $\frac{nt}{T_s}$ を $\frac{n}{T_s}$ に変更。	
	上から 3~4 行目	<p>[誤] 展開は, 式 (4.36) の <math>(t - \tau)</math> を <math>(f - nt/T_s)</math> とみなすことにより得られる。</p> <p>[正] 展開には, 公式 <math>\mathcal{F}[e^{-j2\pi f't}] = \delta(f - f')</math> を用いている。</p>	

頁	行・図・式	誤	正
130	図 5.3	垂直面覆域図の例	垂直面覆域図の例 (NM (海里) : 1 852 m)
131	図 5.4	$h_a, R_A, h_t, a, k_a$	$h_a, R_A, h_t, a, K_a$
142	上から 9~18 行目	$a$ を $v$ に, $b$ を $x_0$ に変更。	
161	式 (6.3)	$\left(\frac{D}{2}\right)^6$	$\left(\frac{D}{2}\right)^3$
	式 (6.3)	$D^6$	$D^3$
184	図 7.3		
186	図 7.4		
197	下から 3 行目	導出するには式 (7.20)	導出するには式 (7.21)
200	上から 6 行目	Range-Gate #1~#3	Range-Gate #3
201	上から 7 行目	図 7.9	図 7.19
215	式 (8.20)	$v_R)^2$	$v_{RT})^2$
231	式 (8.33)	$n$	$j$
249	下から 1 行目	深度 $z_0$	深度 $d$
250	式(9.10)	$z_0^2$	$d$
257	下から 2 行目	送信アンテナ	送信アンテナ

①'

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。

下記 URL にアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。

<http://www.coronasha.co.jp>